

# 江戸城ルネッサンス(再生・活用)

2018年 3月16日

創刊号

ご案内

江戸城ルネッサンス(再生・活用)創刊号に寄せて  
甦れ!江戸城ルネッサンス(再生・活用)  
蔵造りの町並み 川越(第一回 全国の歴史文化まちづくり紹介)  
事務局 i n f o r m a t i o n

市民の夢と希望と誇りを次世代・未来に繋げていこう!  
世界に評価される文化遺産を目指そう!



市民運動12年の成果を踏まえ、2017年1月新事業主体である一般財団法人 江戸城天守再建ルネッサンス(略称)を設立以来、江戸城天守再建事業と歴史文化まちづくりや、江戸・東京歴史文化ルネッサンス ビジョン・5ヵ年基本計画(案)等について、皆さまと様々な角度から検証を行って参りました。文化庁並びに関係官庁はじめ、学識者、市民の皆様による、ご支援に心より感謝申し上げます。

この間には、訪日外国人の急激な増大の背景もあり「観光」が、日本再生の成長戦略の実質的な柱として明確に位置づけられるに至りました。既に、各国の首都における歴史文化都市の創造は、世界的な潮流であり、昨年、国連が提唱した持続可能な観光を目指す、日本の歴史文化まちづくりも、本年、文化財保護法、歴史文化基本構想計画等の改定が行われ、各地での取組みが進められております

一方、東京駅八重洲の大規模開発や日本橋の高速道路地下化等の動きにみられるように、皇居周辺である東京都心部もスピーディな変貌が予想されており、今日、首都東京の歴史性が、益々、失われつつあります。

そのような背景からも、いま、新たに、首都東京の歴史に光を当て、江戸城と城下町を再評価し、それらの価値を明確化することにより、江戸以来蓄積され潜在化している莫大な歴史文化遺産を見える化し、市民の夢と希望と誇りを次世代・未来に繋げる、新しいまちづくり戦略が必要であると存じます。

江戸城の復元に向けては、三浦正幸教授による「江戸城天守」並びに6年の歳月をかけた平井聖教授による「江戸城復元図」は、今直ぐにでも、木造で復元できる図面として完成されております。

しかしながら、国宝の台座の上に復元する天守は極めて難題であり、学識者を含めた広範囲な合意形成が難しいと云われております。問題の核心は、江戸城復元の技術以上に、世界遺産に匹敵しうる首都東京の皇居東御苑に、いま、なぜ、江戸城再生なのか、東京・皇居なのか、についての歴史的、文化的文脈からの評価や価値が学術的に明らかにされ、すなわち、今日的意義の策定が必要不可欠であり、それにより世界的なメッセージ・合意形成を創造していくことが肝要であるとの認識に至った次第です。

2018年度は、「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画書(仮称)」の策定に向けて、6月(予定)シンポジウムをキックオフとし、歴史上、初の本格的な「学術・調査、検討、提言」事業をスタート致します。

私達は、国家的事業と国民的運動の共創による一体的発展を目指し、行政の協力を得て、市民、学識者、産学官民の「合意形成」を重要視する「急がば周れ」を合言葉に、しかし、間断なく、着実に進めて参ります。

皆さまには、どうか、この運動にご参加頂き、ご一緒に進めて頂きたく、また、ご友人、知人など一人でも多くの会員や寄付者等の支援者をお誘い頂きますようお願い申し上げます。

2018(平成30)年3月16日  
代表理事 小竹直隆

## 東京の歴史文化に光をあて、都市の品格を創造していこう

四季折々の自然と豊かな水を湛える濠に囲まれ、緑地、生態系・自然保護、静謐な環境と景観に包まれた雄大なスケールの城郭都市東京の歴史性は、いま、失われつつあります。

江戸城址には、世界に類を見ない傑出した多くの歴史文化遺産が潜在しています。

江戸城天守・本丸御殿・櫓門・石垣・濠、城下町などを再評価し、それらの価値を明確化し、新たな、今日的意義を世界にメッセージして参ります。

江戸城本丸模型：東京都江戸東京博物館展示の江戸城本丸模型を転写・編集

2018年6月スタート

学識者等による

「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画書（仮称）」策定委員会を設置し、歴史上、初めての、本格的学術・調査、検討、提言事業を進め、事業と運動のよすがとし、広く社会に公開して参ります。

ビヨンド2020 世界的に評価される文化遺産を目指そう

# 甦れ！ 江戸城ルネッサンス（再生・活用）

## 市民の誇り（Civic Pride）シビックプライド

江戸城ルネッサンス（再生・活用）により、市民の夢と希望と誇りを次世代・未来に繋げていこう。近未来、江戸城を訪れる内外の人との交流を進め相互の理解により、世界平和への貢献に繋げていこう！

## 私達の社会的使命

合意形成による、着実な前進を！

私達は、江戸・東京歴史文化ルネッサンスの国家的事業とそれを支える市民の交流・連携による国民的運動の共創により、一体的発展を目指し進めて参ります。持続可能な文化観光先進国・都市東京の近未来に寄与すべく、行政の協力を得て、皆様とご一緒に市民、学識者など各界各層との協働による合意形成を目指し、出来るところから、着実に進めて参ります。

熙代勝覧：「熙代勝覧複製絵巻」（名橋「日本橋」保存会）  
（「熙代勝覧複製絵巻」はインターネットでもご覧いただけます。）

# 蔵造りの町並み 川越（第一回 全国の歴史文化まちづくり紹介）

当会は歴史文化まちづくりの全国の官民コミュニティとの交流・連携を進めております。  
第一回は埼玉県川越市の蔵造りの街並みをご紹介します。

川越市には、古（いにしえ）より続く人々の暮らしや活動が各所でみられます。その中でも、物資の集散地として栄えてきた川越城の城下では、明治の大火の後に蔵造りの町並みが形成され、平成11年には重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。また、360年にわたって行われてきた川越祭りは、重要無形民俗文化財に指定されています。さらには、重要文化財を多く残す喜多院をはじめとする寺院とその周辺では、特長ある界隈を醸し出しています。

徳川家光の命で、江戸城紅葉山御殿の一部を移築。これが今に残る客殿、書院、庫裏であり、これらを運ぶために新河岸川の舟運が開かれました。川越藩主を経て幕閣で老中にあった堀田正盛は喜多院や仙波東照宮再建の奉行を命ぜられ天海僧正を助けました。四代将軍・徳川家綱は200石を加増し750石・寺域48,000坪の大寺となり、徳川家に厚く保護され隆盛した歴史もあります。川越観光協会の活動はこれらの遺産を広く紹介し、歴史を正しく理解することを推進されています。

江戸と密接な関わりを持つ川越市では、平成20年4月に施行された「歴史まちづくり法」に基づいて「川越市歴史的風致維持向上計画」を策定されておられます。

ご紹介：小江戸川越観光協会

〒350-0062 埼玉県川越市元町1丁目15-8

<http://www.koedo.or.jp/>



## 事務局 information

### ◆企画・事務局会議のご紹介

当会の企画・事務局会議は、4名（常務理事・事務局長：内田久江、理事・事務局次長：太刀川令爾、事務局次長：中村勝、山崎麻央）を基本とし、テーマ・作業により多彩なメンバーを加えて運営しております。

### ◆会員・市民の皆さまからのご意見をお寄せください！

「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画書（仮称）」策定に向けてご意見を反映させて参ります。

### ◆当会は名称変更を予定しております。ホームページ等で改めてご案内申し上げます。

### ◆当会の設立に至る経緯と背景については、ホームページ又は事務局までお問合せください。

【編集後記】創刊号では、「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画書（仮称）」策定に向けて編集いたしました。機関紙「江戸城ルネッサンス（再生・活用）」は今後、年3～4回発行し活動の状況をご案内して参ります。（T）

一般財団法人 江戸・東京歴史文化ルネッサンスの会（旧名称）江戸城天守再建ルネッサンス（略称）  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-20 ワカヤギビル501号  
Eメール [info@zaidan-edojo.or.jp](mailto:info@zaidan-edojo.or.jp)  
FAX 03-6261-6813  
ホームページ <https://zaidan-edojo.or.jp/> ※「江戸城ルネッサンス」で検索  
開局日時 毎週月曜日～木曜日の午前10時から午後4時迄



役員によるミーティング風景

ビヨンド2020 世界に評価される文化遺産を目指そう  
甦れ！江戸城ルネッサンス（再生・活用）2018年スタート  
江戸・東京歴史文化ルネッサンス ビジョン・5ヵ年基本計画（案）

① 「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画書（仮称）」の策定に向けて：

生態系・自然保護、環境、景観の資産を含む江戸城の天守、本丸御殿、櫓、門、石垣、濠等の歴史的建造物の復元、再生、保存、活用等及び城下町についての学術調査・研究を進める事業と運動のよすがとします。学識者で構成する策定委員会により、順次、情報公開を行います。

② 関係官庁等の協力を得て江戸城ルネッサンス基本計画の検討、並びに、必要な許認可についての関係官庁への要望・提言活動を進めます：

同時に、公益財団法人の認定取得を目指します：

千代田区、東京都、文化庁、観光庁、林野庁、国土交通省、環境省、宮内庁、内閣府、江戸博等

③ 江戸城整備等資金計画並びに事業運営体制等を検証する一方で、経済波及効果の測定を行ない、築城募金の仕組づくりを検討します：

江戸城跡整備等資金等総額約1000億円（参考2013年12月日本都市計画学会）

④ 持続可能な文化観光先進国を目指します：

文化庁、東京文化ビジョンが示す文化財の活用等、あらゆる可能性を追求し、江戸・東京の傑出した歴史文化遺産を顕在化し、世界に発信して参ります。

⑤ 江戸・東京歴史文化ルネッサンスの国家的事業を支える歴史まちづくり市民の交流・連携による国民的運動の共創による一体的発展を目指します：

⑥ 6月（予定）シンポジウム開催、セミナーや委員／グループ活動のスケジュールは改めてご案内致します：

● 合意形成により、

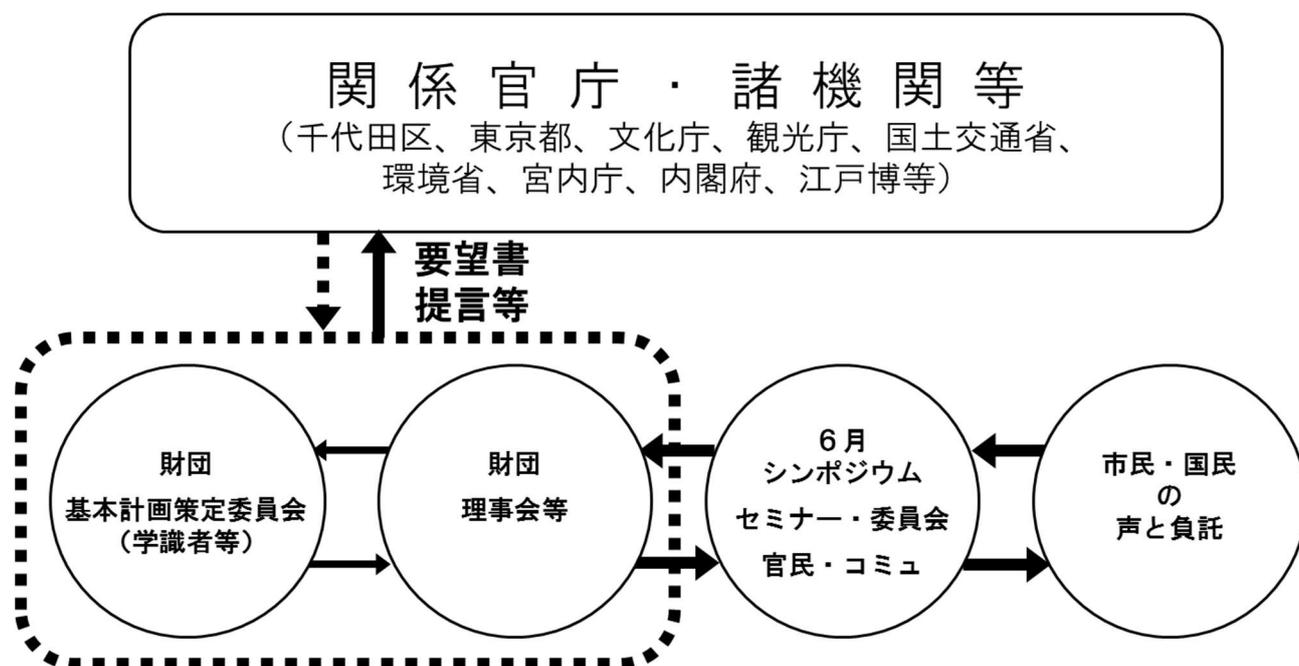
「急がば回れ」を合言葉に、できるところから、着実に、間断なく、進めて参ります。

（スローガン・ロードマップに依らず）



## 要望書・提言等の活動

皆さまと一緒に合意形成を双方向に進めます。



※シンポジウム・セミナー等の開催予定は改めてご案内致します。

### 江戸・東京歴史文化ルネッサンス ビジョン・5ヵ年基本計画(案)に 寄せられた主な意見

基本計画案の実現に向けて「なぜ」を問うていく点に、今後の発展を感じた。【波多野さん 男性】

東御苑、皇居外苑、北の丸公園の3つの公園と、それにまつわる40団体及び学識者との協働という  
点に実現へ向けてのリアリティを感じました。【村井さん 男性】

景観でただ造るだけならコンクリートでも造れるが、そこに文化的価値も入れたものにするという  
ことだと思ふ。天守だけではないということには大いに賛成である。【高橋さん 男性】

電波塔がランドマークの都市というのは威張れたものではない。お城やお寺やキリスト教のドーム  
といったランドマークが無いと、観光の東京と言っても進まないのではないか。【高橋さん 男性】

再建の時期が明示されていないので、実現性に疑問・不満を持った。【川野さん 女性】

江戸城の今回の基本計画(案)では、ビヨンド2020ということで、期限を切っていないことは非常  
に良いと思う。まずはコンセンサスをしっかりと作り上げることが重要であり、コンセンサスの形成  
には期限は切れない。2020年以降としたことに価値があると思う。コンセンサスを作ること自体が江  
戸城の歴史になっていくと思う。【安藤さん 男性】